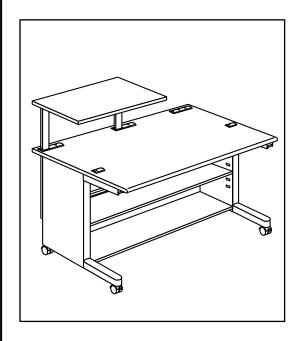
#### **ELECOM**

# パソコンデスクオプション 取扱い及び組立説明書

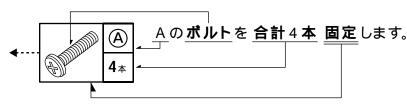
TX-64 TX-74 TX-84

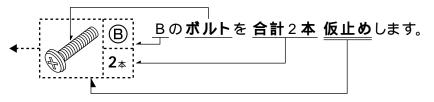
TX-94

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。本製品を組み立てる前に、必ず「組立使用上の注意」をご覧いただき、正しく組立、ご使用されますようお願い致します。



#### 組立図使用マーク一覧







付属工具を使っての 組立があります。



2人以上で作業を 行ってください。



左右共通の部材を 使用します。



右用と左用とで部材の形 状が異なります。組立て の際に取付け間違いのな いようご注意下さい。

### ■組立・使用上の注意■

- √!〉注意マーク……この表示の欄は「軽傷を負う又は、物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。取扱いには十分ご注意下さい。
- 🞹 警告マーク.....この表示の欄は「死亡又は、重傷などを負う可能性が想定される」内容です。 取扱いには十分ご注意下さい。
- √! 必ず軍手や手袋などで手を保護してから組立を行って下さい。
- 組立の際は手や指を挟まないように注意しストーブや、コンロなど火気のある場所での組立は絶対に避けて下さい。
- ! 組立手順に従って指定された位置のボルトは確実に止め、組み立てて下さい。 ネジが緩いと危険です。
- √ 組立時は床などを傷つけないよう十分ご注意下さい。
- 示ーブルや棚の上に立つと危険です。 絶対に上に乗らないで下さい。

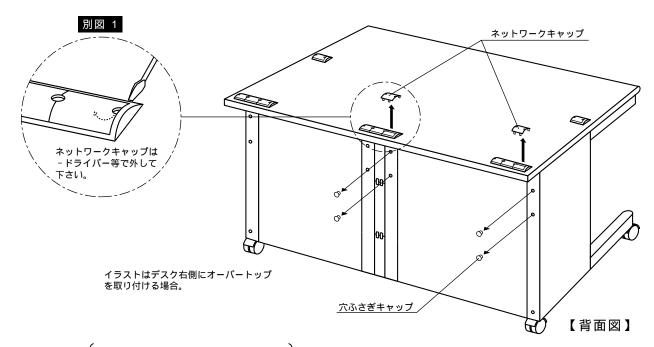
- √ 必ず屋内で使用し、水のかかる場所や直射日光のあたる場所での使用は避けて下さい。
- ・ 使用中に組み付けたボルトが緩んできた場合は再度、組立手順に もとづき、増締めを行って下さい。(その際、天板・棚板等に載せている すべての機器を取り外して行って下さい。)
- 「バンジン・酸・熱湯・シンナー・ミガキ粉・石油などでのお手入れは 避けて下さい。必ず堅く絞ったぞうきんなどで、拭くなどして下さい。
- 切 コンセント付きのものは容量を超えて使用しないで下さい。感電や 火災の原因となります。

## 部品一覧表

組み立てを行う前に、以下の部材がすべて揃っているかご確認下さい。

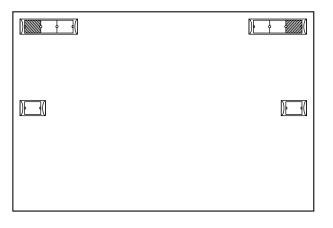
品番	部材外観	品名 数量	品番	部材外観	品 名 数 量
		棚板	A		ボルト (M6×35)
		1 枚			4 本
		オーバートップ フレーム	В		ボルト ( M6×15 )
		2本			4 本

オーバートップフレーム を取り付ける前に、天板後側のネットワークキャップ(CXシリーズに、 天板後側のネットワークキャップはありません)と支柱・バックパネルに取り付けている穴ふさぎ キャップを外します。(別図1参照)



注…上図は { L X -1280,1480,1680,1880 CAI-1280,1480,1680,1880 CAI-1480KL,1480KR,1680KLR 1880KLR

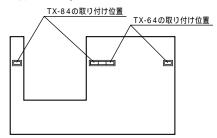
のネットワークキャップ取り外し位置です。 その他の機種は右図を参照して下さい。 (CAD-1410Kは、注の項参照)



LX-680,780,880,980 くは、図の斜線のネット CAI-680,780,880,980 CAI-780K,980KL,980KR CT-612R

ワークキャップを外し て、オーバートップフレ ームを取り付けます。

.CAD-1410 Kにオーバートップ棚板を取り付ける 際は、図の位置のネットワークキャップを外して、取 り付けを行います。

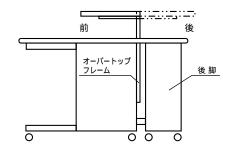


.CAD-1410Kの組立説明書の、後脚取り付けの行 程を参照し組立と逆の手順で後脚を取り外します。

② 後脚取り外し作業の際は、デスク上の使用機器等はすべて 取り去り、デスク本体の転倒に十分ご注意下さい。

.本組立説明書2項の手順に序いオーバートップを取り付けます。 .CAD -1410 Kの組立説明書を参照し、前の行程で 取り外した後脚を取り付けて組立完了です。

CAD-1410Kに限り、オーバートップは前後どちらの 向きにでも、取り付けられます。(下図参照)



.オーバートップフレーム をお好みの高さに取り付け(仮締め)ます。

.棚板 を図の様に取り付け(仮締め)ます。

.すべてのボルトを締め付けて、組立完了です。

